金沢リサイクルニュース！！

◎ごみステーションに出す際のお願いです◎

混ぜないでください！　発火の原因になります

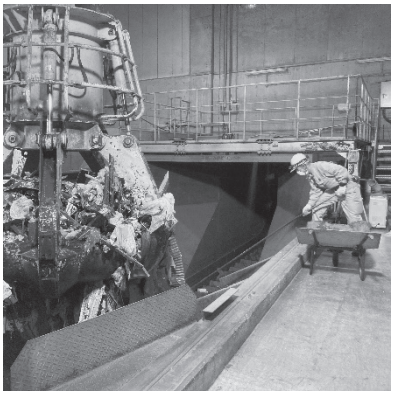
スプレー缶・カセットボンベ、電池、ライターの処分方法

スプレー缶やカセットボンベ、電池、ライターが混入すると、ごみが発火する可能性があり大変危険です。

ごみ処理施設では、目視確認も行っていますが、取り除けなかった危険物による発火事故が発生しています。

危険であると同時に、ごみ処理施設や収集車が使用できなくなり、家庭から出るごみの処理に大きな影響が出ます。

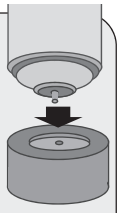
目視確認の様子(戸室リサイクルプラザ)



埋立ごみ処理ライン

容器包装プラスチック処理ライン

スプレー缶・カセットボンベ



中身を使い切ってから、資源回収（月２回）の日に出してください。

〈出し方〉

①ガスが抜けているか確認する

②（残っていた場合）中に残ったガスを抜く

火の気がなく風通しの良い屋外で、ガス抜きキャップ等を使用してガスを抜きます。

カセットボンベ等ガス抜きキャップが付いていないものは地面に押し付けてガスを抜きます。

③スプレー缶に穴を開ける

火の気がなく風通しの良い屋外で、専用の器具等を使い、穴を開けます。

電池

資源回収（月２回）の日に出してください。

「おもちゃ」や「リモコン」などの小型家電類に使われる電池も、取り外せる電池は取り外してください。

※ボタン電池や小型充電式電池は、電気店などに設置してある、専用の回収箱に出すこともできます。

ライター

中身を使い切ってから、燃やさないごみ（月１回）の日に出してください。

〈出し方〉

①ガスが抜けているか確認する

着火操作をする。

火が着いた場合はすぐに吹き消す。

②（残っていた場合）中に残ったガスを抜く

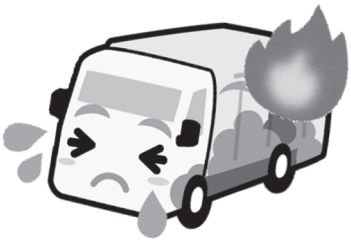
火の気がなく風通しの良い屋外で、輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままの操作レバーを固定する。

③「シュー」というガスの抜ける音を確認する

④火の気がなく風通しの良い屋外に、半日から１日置く

⑤ガスが抜けているか再確認する。

着火操作をする。火が着かなければガス抜き完了。



他のごみと
混ぜないで！

どうしても中身が出せないものを処理したい場合は

一般廃棄物事業協同組合（TEL:076-225-8520）にご相談ください。専門の処理業者をご紹介します（有料）

お問い合わせ：金沢市　ごみ減量推進課　TEL 076-220-2302

回覧											